

特別展
国立民族学博物館創設40周年記念
日本文化人類学会50周年記念

「イメージの力」
国立民族学博物館コレクションにさぐる

人間の作り出したイメージのはたらきや受けとめられ方に、人類共通の普遍性があるのかわかをさぐります。
会期 9月11日(木)～12月9日(火)
会場 特別展示館

企画展
「未知なる大地」
グリーンランドの自然と文化

グリーンランドの自然、そこに住むイヌイットの人びとの歴史と文化を紹介します。
会期 9月4日(木)～11月18日(火)
会場 企画展示場

◆関連イベント
「ワークショップ」
グリーンランドの映像トゥビックを作ろう

紙粘土を使ってトゥビックを作ります。
日時 9月7日(日) 13時30分～16時30分
会場 本館第3セミナー室、企画展示場
※要事前申込(先着順)、参加費500円(要展示観覧券)、小学1年生以上対象、定員15名
お問合わせ先
情報企画課 電話 06・6878・8532

みんなくフォーラム2014
◆展示場クイズみんなの「日本の文化」「沖縄のくらし」「多民族くらし」編 8月26日(火)まで
企画展
「みんなくおもちゃ博覧会——大阪府指定有形民俗文化財時代玩具コレクション」
会期 8月5日(火)まで
会場 企画展示場

博学連携教員研修ワークショップ2014 みんなく「学校と博物館でつくる国際理解教育——センセイもつくる。あそぶ。たのしむ」
本館を活用した国際理解教育の実践事例の紹介やワークショップを通して、博学連携の意義や可能性について考えます。
日時 8月5日(火) 10時20分～17時
会場 本館講堂 セミナー室、本館展示場内
※参加無料(要事前申込、当日参加可)
お申し込み・お問い合わせ先
情報企画課 FAX 06・6878・8242

連続講座「台湾文化を知る」
会場 本館第5セミナー室
日時 8月10日(日) 14時～16時
講師 謝仕淵(国立台湾歴史博物館研究組 組長)
話題 嘉農とKANO——甲子園を目指した台湾球児たち
日時 8月31日(日) 14時～16時
講師 野林厚志(本館教授)
話題 悪い魚と普通の魚——タオ族の魚食文化
※申込不要、参加無料、定員80名

みんなく秋の遠足・校外学習事前見学&ガイダンス
秋の遠足・校外学習にむけて事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。
実施日 8月22日(金)、25日(月)
時間 14時～17時
会場 本館第5セミナー室

みんなくワールドシネマ
「ヒア・アンド・ゼア」
出稼ぎ先からメキシコの故郷の村に帰ってきた男と家族の生活を見つめていきます。
日時 8月30日(土) 13時30分～16時30分
会場 本館講堂
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
※当日11時30分よりナビひろばにてメキシコ移民映画についてのミニレクチャーあり

研究公演
「伝統芸能ハンソリによる韓国文化の理解」
舞台公演およびワークショップを通してハンソリの世界を体験できます。
日時 9月15日(月・祝) 13時30分～16時30分
会場 本館講堂
※要事前申込(8月21日必着)、参加無料

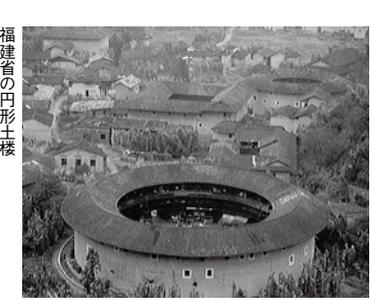
みんなく創設40周年記念 カレッジシアター
「みんなくの地球探究紀行」
研究者が撮影した世界各地の記録映像と研究者によるレクチャー。お弁当付き。
時間 11時～13時30分
会場 あべのハルカス近鉄本館「スペース9」
主催 産経新聞社
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
※要事前申込(申込締切は各開催日の1週間前)、参加費 各回3000円

8月6日(水) 福岡正太(本館准教授)
島のまつりに人がどう 鹿兒島県硫黄島
8月20日(水) 横山廣子(本館准教授)
トンパ村 雲南シャングリラに芽生えた文化復興
8月27日(水) 野林厚志(本館教授)
五年に一度、祖先に会う——台湾 バイウ
お申し込み・お問い合わせ先
ウエブ産経カレッジシアター係
電話 06・6633・9087

みんなくフォーラム

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は観覧料が必要です)

第435回 8月16日(土)
世界遺産に住む——中国・客家の伝統家屋



客家の人びとは巨大な集合住宅に住んでいることで知られています。なかでもドーナツ型の円形土楼と馬蹄型の圓龍屋(いりゅうおく)は珍しいため文化遺産保護の対象にもなっています。本ゼミナールでは、円形土楼と圓龍屋をめぐる最新の情報を紹介します。

第436回 9月20日(土)
イメージの力——みんなくのコレクションが語るもの



人類はその歴史のなかでさまざまなイメージを生み出してきました。果たしてそうしたイメージの創りあげ方や受けとり方に人類に共通の普遍性があるのでしょうか。国立民族学博物館での展示を経て、みんなくで改めて開催される特別展「イメージの力」のなかに、その答えをさぐります。

みんなくウィークエンド・サロン

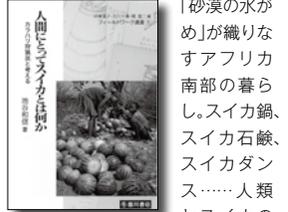
研究者と話をしよう
会場 本館ナビひろば
時間 14時30分～15時30分
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

8月3日(日)
話者 久保正敏(本館教授 副館長)

話題 心的イメージとは何か——イメージ・メディア論
8月10日(日)
話者 山本泰則(本館准教授)

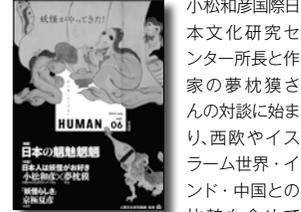
話題 みんなくシンボルマークをえがく
8月31日(日) 会場は日本の文化展示場です。
話者 日高真吾(本館准教授)
話題 完成した「日本の文化」展示

池谷和信 著
『人間にとってスイカとは何か——カラハリ狩猟民と考える(フィールドワーク選書)』
臨川書店 2,000円(税抜)



「砂漠の水がめ」が織りなすアフリカ南部の暮らしぶり。スイカ鍋、スイカダンス……人類とスイカのきた道に思いをはせる。

刊行物紹介
人間文化研究機構 監修
『HUMAN——知の森へのいざない』vol.06
特集「日本の魍魎魎」
平凡社 1,500円(税抜)



小松和彦国際日本文化研究センター所長と作家の夢枕獏さんの対談に始まり、西欧やイスラム・インド・中国との比較も含めて、妖怪についての研究成果を豊富な図とともに紹介する。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)

第435回 9月6日(土) 14時～15時
企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」関連
極北の孤島グリーンランドにおける気候変動と文化の変遷

講師 岸上伸啓(本館教授)
北アメリカ大陸の北東沖に世界最大の島グリーンランドがあります。現在はイヌイットが住んでいます。人類がそこに進出したのは今から四五〇〇年ほど前のことでした。同島は、一年をとおり厚い氷河が大部分を覆う水の島です。ところが一〇世紀末に入植したバイキングは「緑の大地」とよんでいました。水の島がなぜ「緑の大地」なのかという疑問にもつき、グリーンランドにおける文化の盛衰や交替を、気候変動との関係から紹介します。

第436回 10月4日(土) 14時～15時
特別展「イメージの力」
国立民族学博物館コレクションにさぐる 関連
アート(美術)と人類学のあいだ

特別展「イメージの力」によせて
講師 吉田憲司(本館教授)
※いずれも、講演会終了後に1時間程度の展示場見学会をおこないます。

東京講演会

会場 モンベル渋谷店5Fサロン
定員 60名(要事前申込)
※一般の方も参加可能です(参加費500円)
第110回 10月19日(日) 14時～15時
多みんなの街・新大久保とハラルフード産業
講師 菅瀬晶子(本館助教)
※講演会終了後、講師をまじえた1時間程度の懇談会をおこないます。

●無料観覧日のお知らせ
8月11日(月)～24日(日)は、家族でお出かけ節電キャンペーンとして高校生以下・65歳以上の方は無料で観覧いただけます。ただし自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みんなく創設40周年記念
『世界民族百科事典』
丸善出版 20,000円(税抜)

本事典は、国立民族学博物館を編集主体として、世界の民族をめぐるさまざまな事象、問題を主題的に取り上げて、人類学、民族学および周辺領域の研究者が、簡潔かつ具体的に解説したものです。

ビデオテーク新番組(8月公開予定)

VT 番号	タイトル
1714	トゥバの人々 トゥバ共和国編
1715	トゥバの人々 中国編
1716	トゥバの人々 モンゴル編
1717	トゥバの人々 ロシア 中国 モンゴル
1718	雲南省ペー族の楽土
1719	雲南省周城村の春節
7224	雲南省大理ペー族自治州大理市周城村
1713	長浜曳山まつり
1720	漢族の祖廟：中国福建省南部
1721	福建省安溪県の烏龍茶 鉄観音
1722	客家のふるさと 福建土楼
7225	漢族の祖先祭祀：福建省南部における一事例

※国立民族学博物館ミュージアム・ショップの記事は、表紙うらに移りました。